

## 【事例Ⅲ】 理科（生物基礎）学習指導案

指導者 ○○ ○○

- 1 日 時 令和○年○月○日（○）第○限（○○：○○～○○：○○）  
 2 クラス ○年○組（○○型，○○名）  
 3 場所 ○○○○  
 4 使用教材 教科書：「改訂版 生物基礎」（数研出版）  
 副教材：「フォトサイエンス 生物図表」（数研出版），ワークシート，ポートフォリオ  
 5 単元 第2編 ヒトの体内環境の維持 第3章 ヒトの体内環境の維持  
 6 単元の目標

- (1) 神経系と内分泌系による調節について，情報の伝達と神経系と内分泌系による調節を理解するとともに，それらの観察，実験などの技能を身に付けること。【知識・技能】  
 (2) 神経系と内分泌系による調節について，観察，実験などを通して探究し，神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして表現すること。【思考・判断・表現】  
 (3) 神経系と内分泌系による調節に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と生命を尊重しようとする態度を養うこと。【主体的に学習に取り組む態度】

## 7 本時の指導と評価の計画

## (1) 単元内での位置

第2編 ヒトの体内環境の維持

第3章 ヒトの体内環境の維持

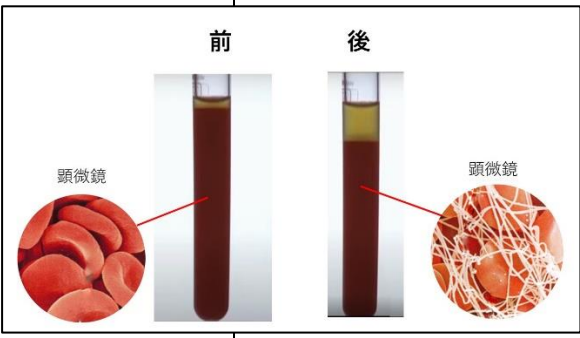
1 体内での情報伝達と調節 6時間

**2 体内環境の維持の仕組み 7時間（本時時間6 / 7時間）**

## (2) 重点目標と評価規準 【主体的に学習に取り組む態度】

血液凝固の仕組みについて，現象から読み取れることを表現し，メカニズムを予想するなど見通しをもつことができている。学習後，自らの学習について振り返ったり，課題を表現したりするなどの学習による変容が認められる。

## (3) 本時の展開

学習場面	学習活動	指導上の留意点	具体的評価規準と評価方法
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>血液凝固について，知っていることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>血小板が関わっていることを確認する。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           本日の課題：血液凝固がおきるメカニズムについて考えよう。         </div>			
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験管を静置した際に血液凝固が起きる過程の動画を観察する。</li> <li>血餅を顕微鏡で撮影したときの画像も観察する。 (右スライド)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>血餅の特徴に気づきやすいよう，通常の血液の顕微鏡写真と血餅の顕微鏡写真を用意し，比較させる。</li> </ul>	
			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオの学習前を記入する(動画及び画像を見て気付いたことを書き, 血液凝固のおきるメカニズムを予想する)。(5分間)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">仮説の設定</div> </li> <li>・ペアでお互いの考えを共有し合う。</li> <li>・血液凝固がおきるメカニズムを学習する。</li> <li>・実際に出血が起きたときに止血される流れと, その後の線溶について学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記入できない生徒が多い状況であれば, 具体的な着目点を助言する。(顕微鏡写真を比較して考えてみることなど)</li> <li>・生徒の活動を観察し, どのような考えを持っているのかを把握する。</li> <li>・動画を見せながら板書し, 観察結果と血液凝固のメカニズムをリンクさせる。</li> <li>・出血を防ぐことで体内環境を保つことに関わること, 線溶と梗塞の関係についても触れる。</li> </ul>	<p>課題に対し, 粘り強く解決しようとする姿勢が見られたか。</p> <p>[ポートフォリオにおける記述]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオに学習後の記入をする。(5分間)</li> </ul>		<p>自らの予想を振り返り, 今後の学習へとつなげようとする姿勢が見られたか。</p> <p>[ポートフォリオにおける記述]</p>

(4) 評価基準 【主体的に学習に取り組む態度】の評価

A 血液凝固の仕組みについて, 動画や画像から分かることを表現し, それと関連付けてメカニズムを予想するなど見通しをもつことができている。学習後, 自らの学習について振り返ったり今後の課題を表現したりするなどの学習による変容が十分認められる。

B 血液凝固の仕組みについて, 動画や画像から分かることを表現し, メカニズムを予想するなど見通しをもつことができている。学習後, 自らの学習について振り返ったり今後の課題を表現したりする姿勢が見られる。

C 血液凝固の仕組みについて, 動画や画像から分かることを表現したり, メカニズムを予想したりすることができていない。また, 学習後, 自らの学習についての振り返りや課題を表現したりする姿勢が見られないなどの学習による変容が認められない。

※Cの場合は, ポートフォリオに赤字で記入の例を書き, 次回以降に自身の思考の過程をポートフォリオに書けるよう支援する。

8 授業者の振り返りと授業改善に向けて

学習後の振り返りについて, 予想の振り返りではなく授業内容の振り返りをしている生徒がいた。振り返るのが予想であることを強調する必要がある

9 御高評